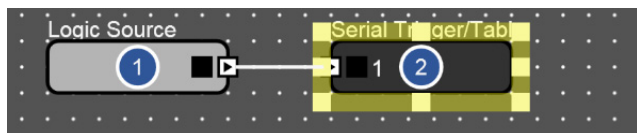


BLU から RS232 を使って外部機器を制御する方法

Logic オブジェクト「Serial Trigger / Table」を使うと BLU から RS232 経由で外部機器を制御することができます。

外部機器との接続にはクロスケーブルを使用してください。



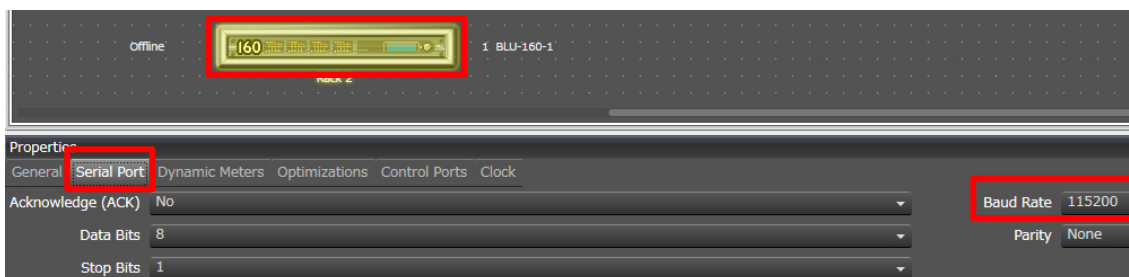
Logic Source を「ON」「OFF」すると、Serial Trigger / Table に設定したそれぞれの状態の時のコマンドが BLU 機器の RS232 ポートから出力され、外部機器を操作することができます。

* 注意 *

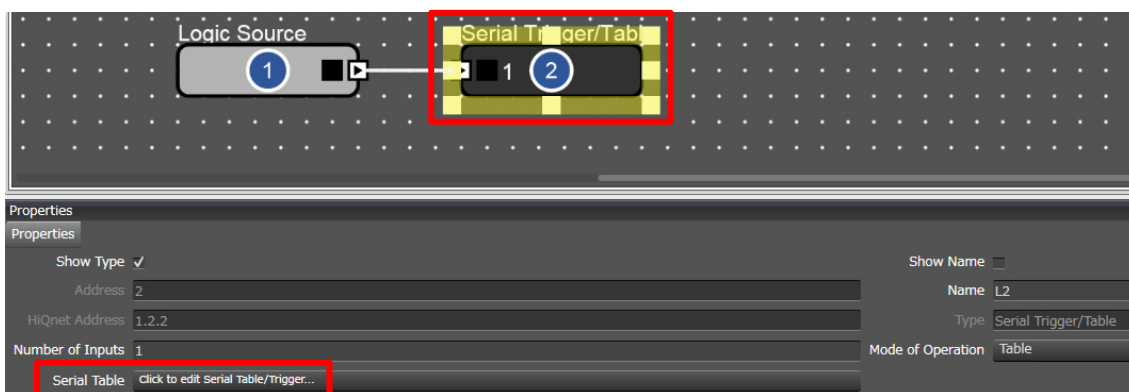
外部機器が確かに変わったどうか、コマンドに対しての ACK や GET メッセージを BLU 機器は取得することが出来ません。

コマンドを送りっぱなしになってしまうことに注意してください。

ここからは外部機器として NEC プロジェクター「NP500J」を使用した例を説明します。



BLU 機器と外部機器のボーレートをそろえてください。



Serial Table・・・外部機器（NP500J）へ送信するコマンドを指定します。

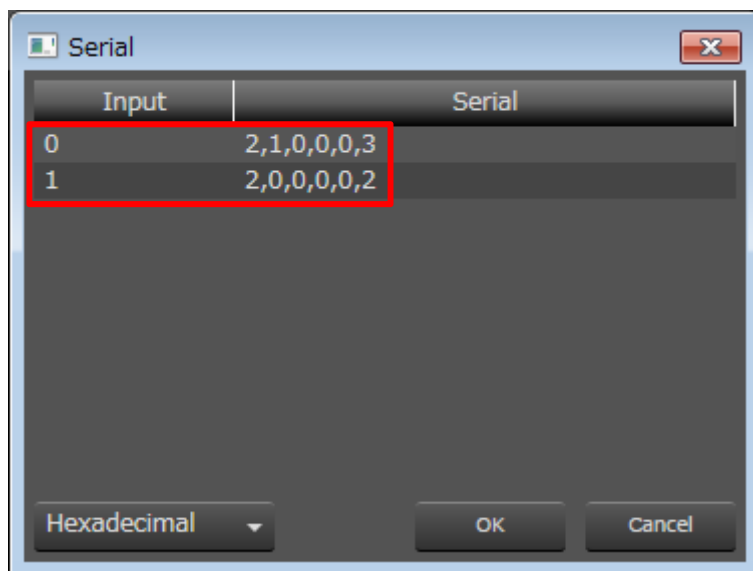
外部機器へ送信するコマンドを Serial Table に設定します。

NP500J の場合、Hexadecimal (16 進数表記) で、

電源オフ・・・2,1,0,0,0,3

電源オン・・・2,0,0,0,0,2

となりますので、以下のように設定します。



これで、Logic Source が「ON」されると、プロジェクター電源オンコマンドが送信され、「OFF」されると、電源オフコマンドが送信されます。